

第 30 回霧ヶ峰自然環境保全協議会議事録

- 1 日 時 平成 29 年 5 月 23 日（火）午後 3 時 00 分～4 時 15 分
- 2 場 所 諏訪合同庁舎 5 階 講堂
- 3 出席者 27 団体
- 4 会議内容

【事務局：仙波（諏訪地域振興局環境課長）】

定刻となりましたので、ただいまから、第 30 回霧ヶ峰自然環境保全協議会を始めさせていただきます。本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。はじめに、諏訪地域振興局酒井局長からご挨拶申し上げます。

【酒井局長】

皆さん、こんにちは。諏訪地域振興局長の酒井裕子でございます。よろしくお願いいたします。協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日お集まりの皆様には日頃から霧ヶ峰の自然環境保全にご尽力いただきありがとうございます。諏訪地域は諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳等豊かな自然環境を有していますが、なかでも霧ヶ峰は国内でも数少ない草原景観を有する地域であり、天然記念物である三つの高層湿原を有する貴重な場所でございます。江戸時代には馬の飼料や畑の肥料にするため、盛んに採草が行われ、昭和 30 年まで行われた結果、日本では貴重な草原景観が形成されましたが、1970 年代以降は霧ヶ峰においても外来植物の侵入が見られるようになり、近年は生態系や景観への影響が懸念される状況にあります。そのため、平成 19 年に霧ヶ峰にかかわる団体が一同に会して、霧ヶ峰の保護と利用のあり方について、総合的に協議、検討し 100 年後に残すべき霧ヶ峰の姿を描き実現することを目的に本協議会が設立されました。それ以降協議会では外来植物の侵入や、ニホンジカによる植生被害を防止するための活動を実施しており、実際に昨年は皆様のご協力による自然保全再生作業や電気柵設置の効果でニッコウキスゲの咲くすばらしい光景を見ることができたと伺っております。

平成 26 年度からの 5 年間は、モデル地区を設定して経験や知見を蓄積する期間と位置づけており、平成 29 年度はその 4 年目となりますが、今後の霧ヶ峰の自然環境保全活動の展開を見据えた検討を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

また、今年度は県においては、次期長野県総合 5 カ年計画の策定を行いますが、県民や関係団体の皆様の意見を十分に伺いながら策定を進めていくこととしています。後ほど次期 5 カ年計画の策定に向けてのご説明を担当者からさせていただきますので、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、皆様のますますのご活躍と、各団体の発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局：仙波】

ありがとうございました。それでは、規約に基づきまして、土田座長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【土田座長】

土田でございます。本日は、大変お忙しいところ、また夏を思わせるような暑い中、ご参集いただきましてありがとうございます。つい先日まで雪景色だった霧ヶ峰もすっかり雪が融けまして、動植物が活発に動き出す季節になってまいりました。

さて、今年度も昨年度に引き続き「霧ヶ峰自然保全再生実施計画」の個別作業が始まります。明後日5月25日の車山でのセイウタンポポの駆除を皮切りに9月27日のススキ刈取りまで作業が続きます。

本日は、冒頭ありましたとおり、地方事務所が地域振興局に組織改正されたことに係る協議会規約の改正について協議いただきたいと思います。また、報告事項については、次第のとおり5つありますので、それぞれ報告いただきます。本年度最初の霧ヶ峰みらい協議会の開催になります。皆様から忌憚のない意見をいただき、よりよい方向へ進めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、協議事項の(1)「霧ヶ峰自然環境保全協議会規約の改正について」事務局から説明をお願いします。

【事務局：仙波】

資料1について説明

【土田座長】

ありがとうございました。それでは、ただ今の説明につきましてご質問・ご意見がありましたらお願いします。

それでは、特にご質問・ご意見がなければ、協議事項(1)について、お諮りします。霧ヶ峰自然環境保全協議会規約(案)のとおり改正することとしてよいでしょうか。

異議ないようでございますのでご承認いただいたということでお願いします。

続きまして、報告事項(1)「霧ヶ峰におけるフランスギクの分布と群落特性について」大窪先生から報告をお願いします。

【大窪教授】

資料2について説明

【土田座長】

ありがとうございました。調査は大変だったと思います。霧ヶ峰に繁殖してきていると

いうことを明らかにしていただきました。何かご質問・ご意見がございますか。

【環境会議諏訪：飯田氏】

フランスギクとヒメジョオンが近種であればほぼ同じ環境に育つ可能性は強いですか。結果的にフランスギクが優占しヒメジョオンが少なくなるのか、それともより広がっているのかを教えてください。

【大窪教授】

フランスギクとヘラバヒメジョオンは同じキク科ですが、分類群としては異なる属でして、そんなに近縁な種ではありません。しかしながらよく似た立地条件に生育する植物同士です。性質としては似たところが多いと思います。フランスギクが増えてヘラバヒメジョオン減るのかというご質問だと思いますが、フランスギクが増えたからといって、ヘラバヒメジョオンが減るということは、あまりないと思います。両方とも広がっていくということが、確率的にも高いのではないかと思います。

【環境会議諏訪：飯田氏】

その結果、在来のどういう植物の生活地域が侵されているのですか。

【大窪教授】

似たような生育条件ですと、例えばマツムシソウやコウリンカなどの植物が競合種になると思います。

【環境会議諏訪：飯田氏】

統計的に出ていますか。

【大窪教授】

そのような調査はしていないのでわかりません。

【土田座長】

他にございますか。地元の人で何か気がついたことなどありますか。私もフランスギクを目にすることが多くなりました。観光客の人たちがきれいな花だといって写真を撮っているのを見たことがあります。在来種だと都会の人は思うかもしれませんが。

先日、美ヶ原の協議会がありました。美ヶ原にも増えてきました。駆除をしようという動きが出てきています。フランスギクが増加傾向にあることが、今回調査により明らかにされたわけですが、この調査結果を踏まえた上で、個別作業の検討なども、行っていく必要があるかと思います。その辺も含めてこの協議会の中でお諮りして、駆除などの対応

についてもしていければと思います。大窪先生ご協力をお願いします。どうもご苦勞様でございました。

それでは次の報告事項（２）「霧ヶ峰延焼地調査について」環境保全研究所須賀班長から報告をお願いします。

【環境保全研究所：須賀班長】

資料３について説明

【土田座長】

ありがとうございました。延焼から５年がたったということですが、長期的に調査をいただきご苦勞様でございます。それでは、ただ今の報告について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

【環境会議諏訪：飯田氏】

レンゲツツジについては影響がなかったと考えていいわけですね。アカマツ、ナラとかの幼木は生き延びていますか、それともその時点で枯れて、結果的には森林化を抑制したことになったのか教えてください。

【環境保全研究所：須賀班長】

延焼地では、燃えた樹木は伐採されましたので、現状では高木はなくなっているという結果です。直後の印象ではアカマツはかなりの被害を受けていました。シラカンバは一部の枝で緑がみえたのが、その時の状況でした。

【土田座長】

他にございますか。なければ、報告事項（２）についてのご意見等を締め切らせていただきます。延焼地調査については引続き実施されるとのことですが、現時点ではあまり影響はないとのことですが、今後の調査によって重大な変化等がみられれば、対策を講じる必要が生じると思いますので、また、ご報告いただきたいと思います。

それでは続きまして、報告事項（３）「個別作業ボランティアの募集について」事務局から報告をお願いします。

【事務局：仙波】

資料４について説明

【土田座長】

今年度は明後日５月２５日から計９回の作業が予定されております。夏の暑い時期にかけ

での作業となりますが、皆様の力を借りなければ実施していくことはできないと思いますので、構成団体の皆様には最大限のご協力を改めてお願いしたいと思います。参加募集については、事務局で皆様にお知らせしてあります。また、構成団体以外の方にも広くボランティアの募集をしており、一般の方から数多くの応募をいただいております。多くの方の力を結集して霧ヶ峰の自然再生を進めてまいりたいので、積極的に参加いただきますよう、よろしく申し上げます。特に質問ございますか。

なければ続きまして、報告事項（４）「第7回美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわの開催について」長和町から報告をお願いします。

【長和町：上條係長】

資料5について説明

【土田座長】

ありがとうございました。それでは、ただ今の報告について何かご質問・ご意見がありますでしょうか。昨年度と大きな変更はありません。この大会の会場の大部分が国定公園内であることを念頭に、環境保全には十分留意していただいた上で実施していただくようお願いいたします。

それでは、続きまして報告事項（５）「霧ヶ峰スキー場敷地内におけるマツムシソウ播種計画について」諏訪市観光課から報告をお願いします。

【諏訪市観光課：細野課長】

マツムシソウの播種を行わないこととした旨の報告

【土田座長】

ありがとうございました。何かご質問・ご意見ございますでしょうか。いろいろご配慮いただきありがとうございました。

それでは続いて4その他にまいります。各団体から報告する事項等がありましたらお願いします。

【環境保全研究所：須賀班長】

電気柵の効果検証について説明

【事務局：仙波】

セイヨウタンポポのモニタリング調査について説明

【諏訪市生活環境課：笠原氏】

雑木処理作業について説明

【諏訪地域振興局企画振興課：平林主事】

次期長野県総合5ヵ年計画策定に向けてについて説明

【土田座長】

ありがとうございました。一括してご意見・ご質問ありましたらお願いします。どこの内容でもよいです。

【環境会議諏訪：飯田氏】

八島湿原にシカの柵をして、7～8年たちますがその後どうなりましたか。具体例として効果があったのかなかったのか。森林化が進んだのか教えてください。

【環境保全研究所：須賀班長】

本日、お答えするための資料の確認をしてきていません。後日、報告したいと思います。

【環境会議諏訪：飯田氏】

土田先生、大窪先生がわかっている限りでよいです。

【大窪教授】

前回、泉山先生と同じ研究室の助教授の方が前回の協議会の前に報告をされていたと思います。私は直接にその報告は聞くことができませんでしたが、柵をした後は、シカはほとんど入っていないということで効果はあったと聞いています。植物は私の方では存じあげません。

【環境会議諏訪：飯田氏】

次回でよいですので、8年くらい経つので以降の報告をしてください。

【事務局：仙波】

次回報告するようにしますので、よろしくをお願いします。

【土田座長】

他に何かございますか。報告されたこと以外で、各団体の皆様からの報告や霧ヶ峰に関する新しい知見がありましたらお願いします。気がついた問題点ありませんか。なければ、本日の全ての議題・報告は終了しました。次回開催予定について、事務局からお願いします。

【事務局：仙波環境課長】

次回開催予定は来年2月下旬に諏訪合同庁舎にて開催したいと思います。日程は、決まり次第早めにご連絡します。

【土田座長】

ただいま事務局より次回開催については、来年2月下旬に諏訪合同庁舎にて開催したいとの提案がありましたので、具体的な日程が決まり次第早めに皆様にご連絡させていただきます。また、次回の協議会が開催されるまでに開催が必要な事項が生じた場合に臨時に開催する場合もございますので、よろしく申し上げます。

【事務局：仙波環境課長】

土田座長ありがとうございました。皆様長時間にわたるご討議お疲れ様でした。以上をもちまして、第30回霧ヶ峰自然環境保全協議会を終了します。ありがとうございました。